

松江市の取り組みについて

(平成26年度の取り組み概要)

平成27年1月

松江市防災安全部原子力安全対策課

1. 原子力安全対策

◆ 原子力安全対策

- 施設定期検査中の島根原子力発電所1、2号機や建設中の3号機の状況について、安全協定等に基づき確認。

◆ 島根2号機の新規制基準適合性審査

- 国の審査会合やヒアリングの状況などについて、中国電力(株)の審査状況説明会などにおいて審査状況を確認。

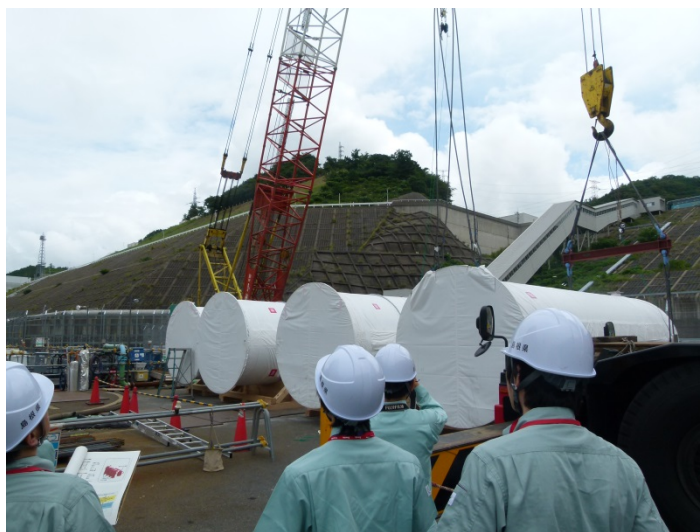
- 現地視察

活断層に関する追加調査(平成26年5月14日、6月10日、9月17日)

フィルタ付ベント設備のフィルタ吊り込み状況(平成26年8月28日)

放水砲の放水試験状況(平成26年9月10日)

免震重要棟の設置状況(平成26年11月7日)



フィルタ付ベント設備視察(スクラバ容器)



免震重要棟視察(免震構造)

2. 原子力防災対策

◆ 松江市原子力災害広域避難計画地区別説明会

- 地区別避難計画パンフレットを平成26年6月に各戸配布するとともに、地区別に説明会を開催。約2,000名が参加。(自治会単位などでの説明も、別途実施)
- 説明会での主なご質問

1. 避難先について

- 市が定めた避難先に必ず避難しないといけないのか。別の自治体に親戚・知人宅がある場合、そこへ避難してはいけないのか。
- 親戚・知人宅へ避難する人を事前に把握しないのか。

2. 避難手段について

- 避難経路は計画に定められた経路しか通ってはいけないのか。
- バスの確保はできるのか。バスの手配にはどの位時間がかかるのか。
- 実際に避難指示が出た場合は交通規制を行うのか。

3. 学校・要配慮者の対応について

- 生徒・児童については、保護者への受け渡しを行うということだが、家庭により仕事をしていたり、いろいろな条件が違ふことが想定されるが大丈夫か。
- 時間帯によって家族が離れており、避難すべき高齢者等が忘れ去られたりすることはないか。



地区別避難計画パンフレットの例(鹿島地区)

2. 原子力防災対策

◆ 松江市原子力災害広域避難計画地区別説明会

4. 避難などの対応について

- 地震があって通行が不可能な場合、迂回路はどのように考えているか。
- (地域が)PAZとUPZの境界になるが、PAZの人はいち早く逃げて、我々UPZの人は屋内退避を行うのか。
- 放射性物質は風によって広がる。松江は特に冬季北西の風が強いと言われているが、風向きを考慮して避難指示を行うのか。風向きによっては、避難経路の放射線量が高い可能性があるが、そのようなところを通して避難するのか。
- 安定ヨウ素剤はどのタイミングで服用するのか。安定ヨウ素剤はどこで配布されるのか。

5. 市の災害対応について

- 発電所で事故が起きたら中国電力が国へ通報することのだが、住民へはどのように情報が来るのか。

6. その他

- 事故の状況に応じて段階的に避難指示が出るということのだが、それぞれどの程度の時間を予想しているのか。
- 計画は市民全員が知っていないとだめだと思うが、今後どのように周知していくのか。
- 現在、島根原発は停止しているが、この計画が必要なのか。



地区別説明会の様子(鹿島地区)

- 説明会で頂いた主なご意見・ご質問や、それに対する市の回答などは、整理した上でホームページ等で公表するとともに、町内会単位などの出前講座による説明会で頂くご意見等も含め、引き続き、避難計画の実効性の向上に努めていく。

2. 原子力防災対策

◆ 平成26年度松江市原子力防災訓練(平成26年10月18日(土))

- 今年の訓練のポイント
 - ✓ UPZ(島根原発からおおむね5～30km圏内の区域)のうち、城西地区を対象に江津市への広域避難訓練を実施。
 - ✓ PAZ(島根原発からおおむね5km圏内の区域)のうち、鹿島地区の小学校を対象に緊急退避所への退避訓練や児童の保護者への引渡し訓練を実施。
 - ✓ 市災害対策本部の設置運営訓練や、市全域の関係施設等への情報伝達訓練など、例年行っている訓練項目についても実施。

- 訓練参加者数

区分	人数	備 考
市職員	130人	江津市職員を除く
学校	17, 652人	(1月20日現在)
保護者	254人	児童1人につき1人と集計
避難住民	64人	城西地区 避難訓練参加住民
関係機関等	235人	参加機関1機関につき1人と集計
合 計	18, 335人	



避難途中での汚染検査



保護者への引渡し訓練(くにびきメッセ)

3. その他

◆ 説明会・見学会実施状況

- ・ 説明会(避難計画など)等 計26回、約800名参加
- ・ 原子力関連施設見学会 計6回、170名参加

◆ 広域避難先視察研修

- ・ 広域避難計画に基づき、地区毎に定められた避難経路及び避難経由所の確認及び視察を行うとともに、避難先自治体から説明を受けることにより、広域避難計画の周知及び避難先に関する理解を深めることを目的に実施。

〔平成26年度 5地区、計155名参加〕

朝酌地区(玉野市)、
竹矢地区(笠岡市・矢掛町)、
白潟地区(邑南町)、
美保関地区(倉敷市)、
玉湯地区(府中市)



(美保関地区 避難経由所の視察)

◆ 放射線防護対策工事

- ・ 放射性物質が放出される原子力災害に備え、松江市災害対策本部の機能強化及び活動要員の無用な被ばく防止を目的とし、本庁舎西棟の放射線防護対策棟工事を実施(平成27年3月末完了予定)。